

事例研究報告

**特別支援学校小学部児童に対する
ひものかた結びができるようになる
ための指導**

児童の実態

- 自閉症スペクトラム
- 知的障がい
- 簡単な言語指示が理解できる。
- 「おちゃ」「〇〇ください」「おねがいします」等, 単語や2語文で伝えることができる。
- ボタンの留め外しができる。
- 裏返しの服を元に戻して畳むことができる。

保護者・教員の願い

手先の器用さを
活かして、いろ
いろな動作が
できるよう
なってほしい。

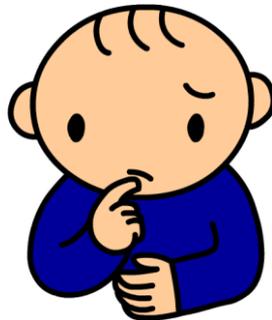
将来、靴ひもや
エプロンのひもが
結べるようになっ
たら素敵だな。



ベースライン

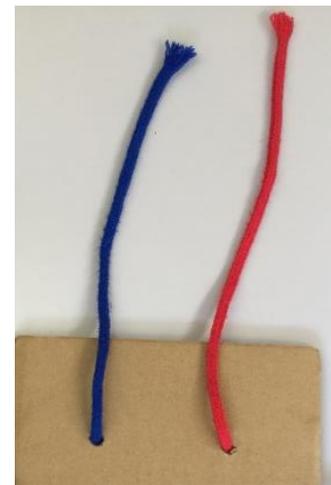
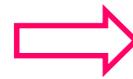
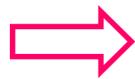
10月：指導開始前

- ・ひもを持つと、2本を交互にくるくるとロープを編むように動かす。
- ・ひとつ結びも難しい。



アドバイザーからの助言①

- 結び方の手順をスモールステップで教える。
→ まずは、ひとつ結びの各動作から。
→ 【例】くぐらせる、引っ張る 等
- 2本を動かす動作は難しいため、1本を動かす。
- 素材は、堅い物から始めて最終的にひもへ。
→ モール等、ひもの形が変化しにくい物から始める。
- ひとつ結びができたなら、かた結びへ。



記録方法

- ・「AI-PAC」を活用する。

「AI-PAC」

(ABA integrated Programs for Autism speCtrum disorders)

ADDSと慶応義塾大学が共同開発した、発達障害児に対するエビデンスに基づいた包括的早期療育プログラム。

5領域600個を超える課題俯瞰図を使って、子どもの発達状況や、課題の進捗を管理・共有するためのシステム。

学習基盤

働きかけの応答
注意の持続
強化子
自己統制
模倣

コミュニケーション

非言語
要求、受容
叙述、会話

アカデミック

数
文字
文法

視覚・運動

視覚情報処理

社会スキル

社会性
生活スキル
スクールスキル

記録方法と記録

- 「AI-PAC」に，課題の取り組みの結果を記録する。

＋ → できた

P → 支援ありでできた

－ → できなかった



- 課題の取り組みの様子等，気づいたことを記入する。
- 課題実施時の動画を添付し，アドバイザーと共有する。
- 課題の取り組みの経過やアドバイザーからのコメントを確認する。

指導1 ひとつ結びができる

<指導の手続き>

- ・左は動かさず，右のモール(ひも)だけを動かして示範する。
- ・「くぐらせる」「引っ張る」の各動作で手を添える。
- ・各動作が正しくできたら，すぐに好子の音の鳴る絵本を手渡し強化する。
- ・取り組みの様子を見て，徐々に支援を減らしていく。
- ・1人でひとつ結びが2回連続でできたら達成とし，材質を変えていく。

☆Step①左右共にモール

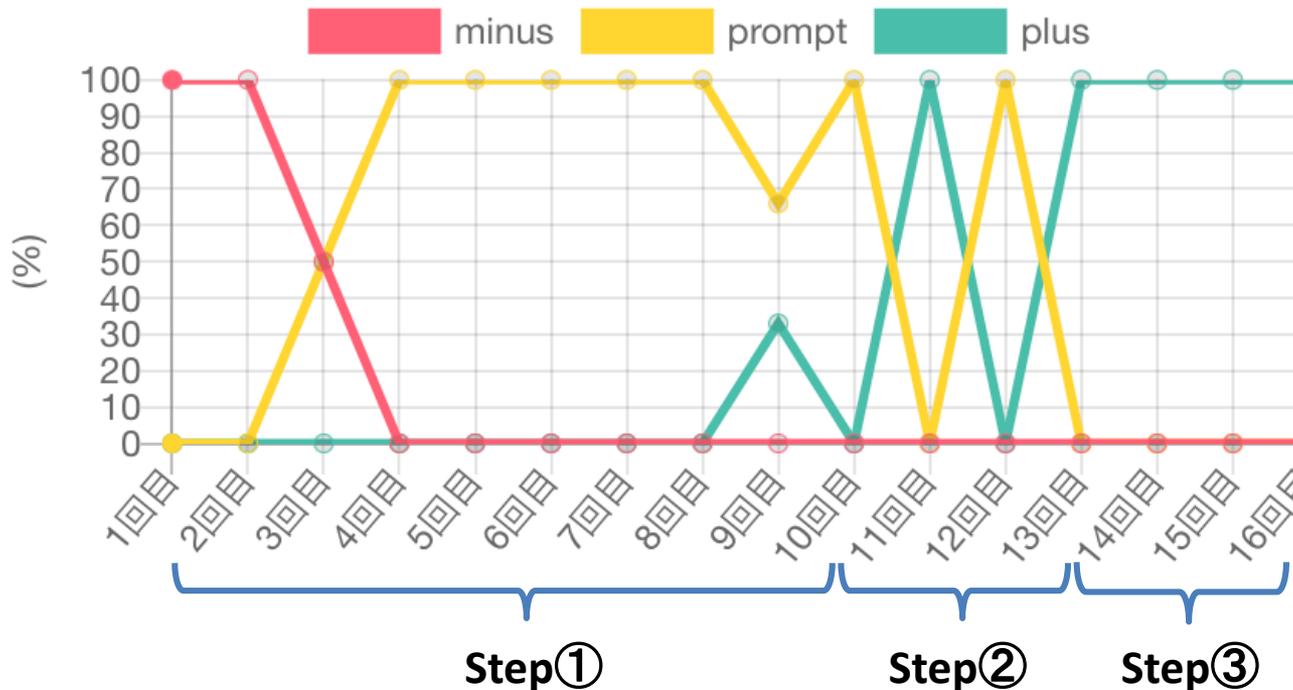
→Step②左：モール，右：ひも

→Step③左右共にひも

指導1 実践結果

- Step①左右共にモール
- Step②左:モール, 右:ひも
- Step③左右共にひも

**Step①で動作を覚えると
②③はすぐにクリア!**



指導2 かた結びができる

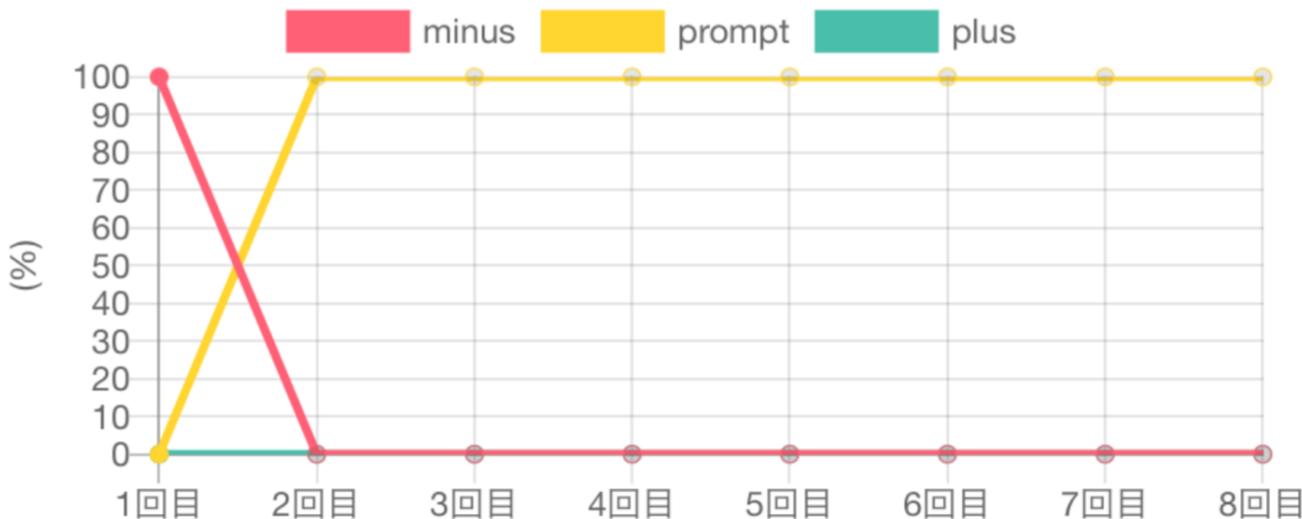
<指導の手続き>

- ・かた結びを示範する。
- ・ひとつ結びができたなら、「もう1回」等と言葉かけをしたり手を添えたりして、ひとつ結びを2回繰り返す。
- ・2回結べたら、すぐに好子の音絵本を手渡し強化する。
- ・取り組みの様子を見て、徐々に支援を減らしていく。

○達成基準：1人でかた結びが2回連続でできた場合。

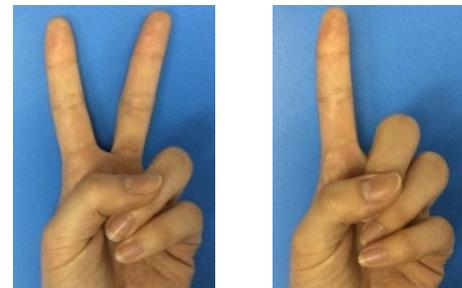
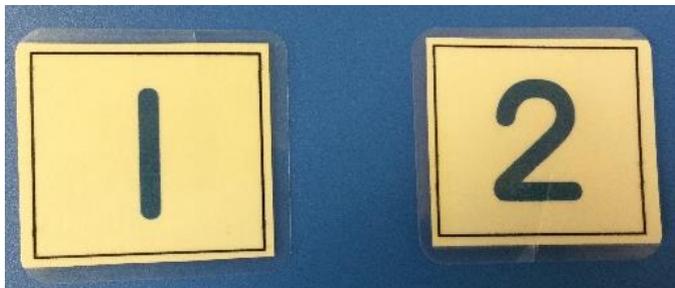
指導2 実践結果

- ・ひとつ結びはできるが、2回目が同じように結べずくるくるとロープを編むように動かしてしまう。
- ・制止し再度示範したり、「もう1回」「同じ」等と言葉かけをしたりしても、同様に動かしてしまう。



アドバイザーからの助言②

- ・結ぶ動作は覚えている。「2回結ぶ」ことが、上手く伝わっていない。
 - 数字カードを提示して、視覚的に示す。
 - 数字カードで2回結べたら、指へと手がかりを変えていく。
- ・指の手がかりで結べるようになったら、「かた結び」と「ひとつ結び」がそれぞれ指の手がかりで区別して結べるように、ランダムに実施していく。



指導3 数字カードや指，言葉かけを手がかりに，かた結びができる

<指導の手続き>

☆Step①

- ・数字カードを提示する。1を指さししながら「1回目」と言葉かけをし，次に，2を指さししながら「2回目」と言葉かけをする。
- ・2回結べたら，すぐに好子の音絵本を手渡し強化する。

☆Step②

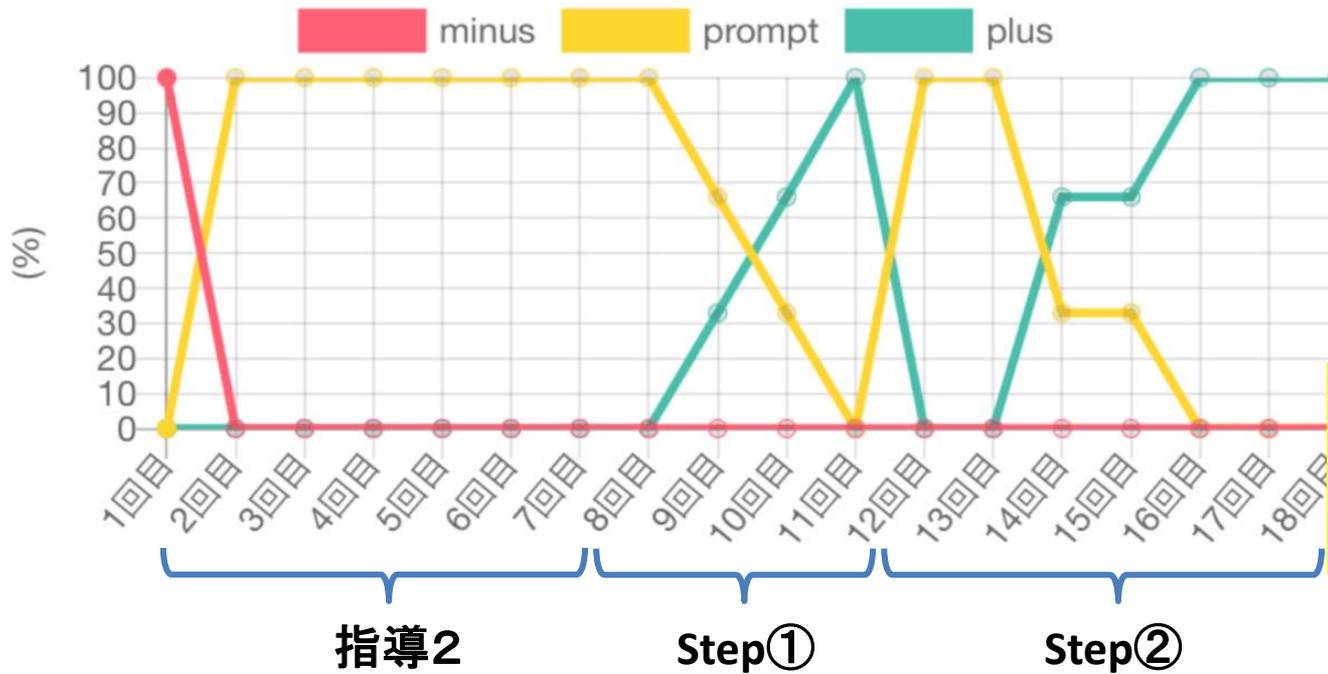
- ・「かた結び」と言いながら，ピースの手を提示する。指1本を動かして「1回目」と言葉かけをする。結べたら動かした指を折る。次に残りの1本を動かして「2回目」と言葉かけをする。結べたら指を折り，グーの手にして終わりを伝える。

○達成基準：手がかりを元に，かた結びが2回連続でできた場合。

指導3 実践結果

Step①数字カードへの指さし＋言葉かけ
Step②ピースの手＋言葉かけ

目で見て
結ぶ回数が
わかった！



成功のポイント

- ひもを結ぶ工程の各動作を細かく刻み、スモールステップで実践したこと。
- 児童の得意を見極める。
視覚優位を生かし、結ぶ回数を数字カードや指の本数で示したこと。

